

授業での活用事例

【内容】ICT機器を用いて論理的思考力を高める。

【使用アプリ】ロイロノート

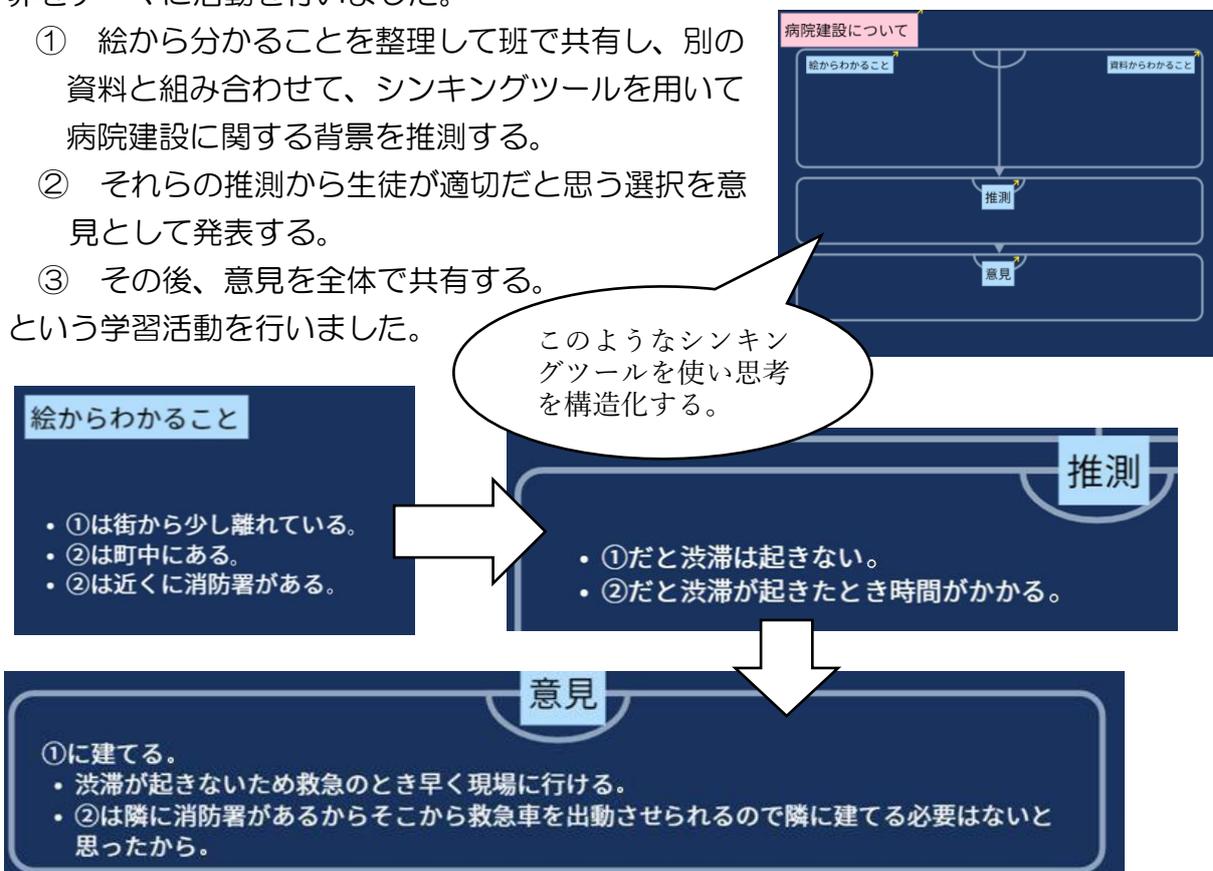
【事例紹介】

● 授業において論理的思考力を高めるためのロイロノートの活用

3年生社会科の授業（公民分野：効率と公正）の単元において、ロイロノートのシンキングツールを用いて資料から分かることを整理する活動を行いました。病院建設の是非をテーマに活動を行いました。

- ① 絵から分かることを整理して班で共有し、別の資料と組み合わせて、シンキングツールを用いて病院建設に関する背景を推測する。
- ② それらの推測から生徒が適切だと思う選択を意見として発表する。
- ③ その後、意見を全体で共有する。

という学習活動を行いました。



このように順序立てて意見を整理して発表させました。

【終わりに】 ICT機器を用いたことで資料の読み取りや、考察したことを整理して発表することができ、学習内容の理解につながったと感じました。また、意見の共有もスムーズで、級友の意見に考えを深めている様子も見受けられました。

☆教育委員会指導主事より☆ 現行学習指導要領では、授業の中で意図的に「協働的な学び」を組み込むことが求められています。他者の考えに触れ、自分の考えを深めていくという一連の流れは、従来から授業で大切にされてきたことですが、より強調され「個別最適な学び」とともに重要なキーワードと位置付けられています。他者の考えに触れるための手段はいくつか考えられますが、そこで活用できるのがICTです。『共有』はICTの得意分野ですから、この報告のようにお互いの考えを共有することが簡単にできます。共有した後、自分の考えを磨いていくための手立てについては、これから研究を深めていく上で重要になってくると考えられます。参考になる御報告ありがとうございました。